



教えること・伝えることの難しさを実感 ～小高連携事業～

吉川小学校の児童を対象に、本校1年生(52回生)が先生役を務めるミニ講座を開き、交流を深める小高連携事業を、12月15日(金)に実施しました。児童には2講座ずつ体験してもらいました。

講座①：かけっこで速く走れるようになろう！(3年生42名対象)

講座②：算数(九九計算)でビンゴゲーム！(同上)

講座③：コラージュで思いを伝えよう！(4年生30名、5年生22名対象)

講座④：遠くまで飛ぶ紙ひこうきを作ろう！(同上)

生徒はこの日に向けて、2学期後半の総合的な探究の時間を使い、4班に分かれ試行錯誤を続けてきました。人に何かを教える(伝える)時、大切なのは「その言葉で相手に伝わったか？」を意識することです。歳の離れた小学生が相手ならなおさらのことです。少しでもわかりやすく説明しようとして、言葉を選び、指示の出し方や接し方を工夫します。班員間で役割に応じた協働も必要です。その結果、相手にとってはもちろん、自分にとっても新しい言葉の発見が得られたり、逆に知識の不足に気づいたり…。52回生は、自分たちが学んだ(探究した)ことを小学生相手にアウトプットすることにより、学ぶ力、即ちインプットする力も大きくなったはずです。

一方、吉川小学校の子どもたちも、高校生のお兄さん・お姉さんたちと活動することが楽しくて仕方がない様子でした。小高連携事業は、小学生・高校生双方にとって「Win-Win」の関係ですが、18日(月)に実施した振り返りとポスター発表の様子からは、高校生が得るものがより大きかったのでは、と感じました。まさに「教えることは二度学ぶこと」です。



小学生はスクールバス4台で来校



講座① 速く走れるようになろう！



講座② 算数(九九)でビンゴゲーム！



講座③ コラージュで思いを伝えよう！



講座④ 遠くまで飛ぶ紙ひこうきを作ろう！



振り返りのポスター発表



👍 喜び 🎉 感動 🤝 分かち合って 50年！

兵庫県立 吉川高等学校

〒673-1129
三木市吉川町渡瀬300-12
Tel 0794-73-0068

